

水曜コラム+

日銀いよ金融教室 第82回：はじめまして

2017年6月14日（水）（愛媛新聞 E 4 編集係）

5月18日に第38代の日本銀行松山支店長に就任致しました金沢敏郎です。前任の真鍋正臣に継いで、本コラムも担当させて頂くことになりました。以後、宜しくお願いします。

初回ですので、簡単な自己紹介をさせていただきます。昭和42年（1967年）8月、神奈川県横浜市に生まれ、平成3年（1991年）に日本銀行に入行し、27年目を迎えた49歳です。支店勤務は、入行1年目から3年目にかけて岡山支店に勤務して以来、ほぼ四半世紀振りになります。

本店勤務では、金融に纏わる仕事を比較的多くしてきました。例えば、リーマンショックの前後には、金融政策を実行する最前線である金融市場調節部署に所属し、急変するマーケットに、企業金融円滑化の観点から、ドルの資金供給を含め様々な対応を行いました。その後は、量的質的金融緩和政策の下での金融機関の貸出や有価証券投資の動向を取りまとめ、毎月、政策委員に報告する仕事も経験しました。直近は、日銀ネット（日本銀行と取引先金融機関との間で資金や国債の決済をオンライン処理するネットワーク）の約四半世紀振りのリニューアルのほか、ビットコインなどの仮想通貨や人工知能（AI）・ビッグデータなどフィンテックの最新動向もフォローしていました。こうした経験も活かして、皆様の新たな取り組みのヒントになるような事柄をお伝えし、経済を元気にしていくお手伝いをしていければと考えています。

愛媛・松山に来て、最初に思い浮かんだ言葉は「バラエティとコンパクト」です。県全体としては、石鎚山を始めとする山々や島々の浮かぶ瀬戸内海、リアス式海岸の宇和海などの自然の面でも、また、柑橘栽培・魚類養殖や、造船・紙パルプ・タオルなどの生産、松山城・道後温泉・しななみ海道などの観光資源と、産業の面でもバラエティに富んでいます。他方、支店のある松山は路面電車などを通じてコンパクトにまとまっていて、とても住みやすいと感じています。バラエティ、コンパクトともに、愛媛・松山の持つ強みだと思えます。ずっとお住まいの方にとっては当たり前のことかもしれませんが、素晴らしい環境で、「日本にこんなに良いところがあったのか」というのが今の正直な気持ちです。

外から来た者だからこそ気が付くこともあると思います。「一所懸命」、愛媛のために微力ながら全力を尽くす所存ですので、宜しくお願いします。

（日本銀行松山支店長・金沢敏郎氏）